

# 平成17年度決算のあらまし

市町合併後の初めての決算は、一般会計と国民健康保険・介護保険などの特別会計を合わせた総額で、歳入827億272万円、歳出798億6350万円に上りました。特に平成17年度は、合併時に会計を打ち切っている影響で、その時点の未収金・未払金などを引き継いでいるため、大きな決算となっております。

## 〈一般会計〉

歳入 567億3164万円  
歳出 548億9157万円

## 〈特別会計〉

歳入 259億7108万円  
歳出 249億7193万円

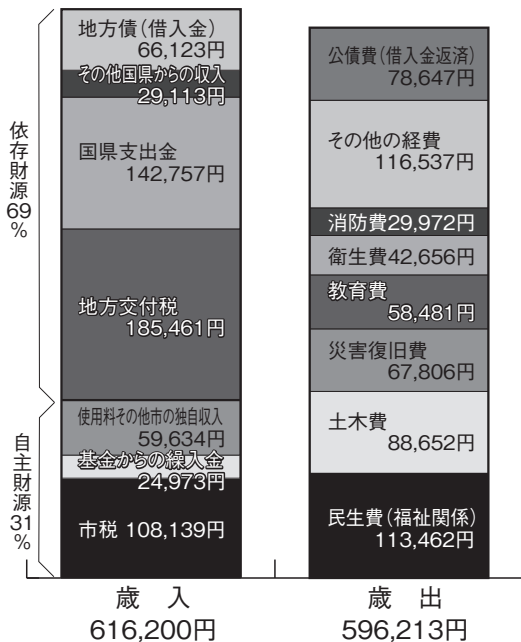
## 一般会計の決算

一般会計の歳入のうち、市税は99億5602万円で、全体の約18%となりました。歳入のうち最も大きなものは地方交付税で、全体の約30%を占めています。また、借金である地方債も60億8769万円借り入れました。歳出では、福祉関係の経費である民生費が最も大きく

104億4609万円、これに土木費81億6194万円、台風23号の災害復旧費62億4273万円が続きました。また、借金の返済にあたる公債費にも72億4079万円使いました。また、平成17年度末の一般

本市は、合併後、日も浅く、他の同規模の地方公共団体と比べ、財政規模が大きく膨らんだ決算となりました。

## 市民1人当たりの決算(一般会計)



※平成18年3月末の住民基本台帳人口(92,067人)に基づき計算しています。

## 公営企業会計の決算

市の公営企業には、水道事業・下水道事業・農業共済事業があります。

水道事業は、豊岡・城崎・日高・出石の約2万5千戸、7万2千人に給水を行い、平成17年度の決算は、1億970万円の黒字となりました。これは、合併により人件費を縮減したことや、維持管理費の減少などによるものです。(竹野・但東および豊岡・日高・出石の一部約6千戸、2万人は、別の簡易水道事業〈特別会計〉としています)

下水道事業は、約97%の整備を完了し、供用開始戸数約3万1千戸、人口9万人となりましたが、水洗化率は約80%にとどまっています。平成17年度の決算は、6億9765万円の赤字となりました

## 〈水道事業〉

収入 15億4155万円  
支出 14億3185万円  
純利益 1億970万円

## 〈下水道事業〉

収入 49億1436万円  
支出 56億1201万円  
純損失 6億9765万円

が、これは台風23号の災害によるもので、経常収支では5339万円の黒字となりました。

また、農業共済事業会計の決算は、収入総額2億1522万円、支出総額2億470万円。共済金の支払額は家畜共済4849万円、水稲共済384万円など、総額5365万円でした。

\*詳細な決算状況・バランスシートなどは、市役所財政課で資料を配布しています。また、市のホームページでも公表しています。

一般会計：教育、福祉、消防、道路・公園の整備など、市の基本的な事業に関する会計です。

特別会計：特定の事業を特定の財源で賄うための会計です。例えば国民健康保険事業特別会計は、国民健康保険税を主要な財源として運営されています。

企業会計：水道や下水道事業など企業の性格(独立採算制による経営など)を持った事業を運営する地方公営企業の会計です。

## 【問合せ】 財政課財政係